



2026年3月、
新しい歴史の始まりと一つの区切りと
～本社移転、中央支店閉鎖に際して～

「 象徴 」

大阪市西淀川区千舟、
「HINO」シンボルマークが
誇らしげに佇む

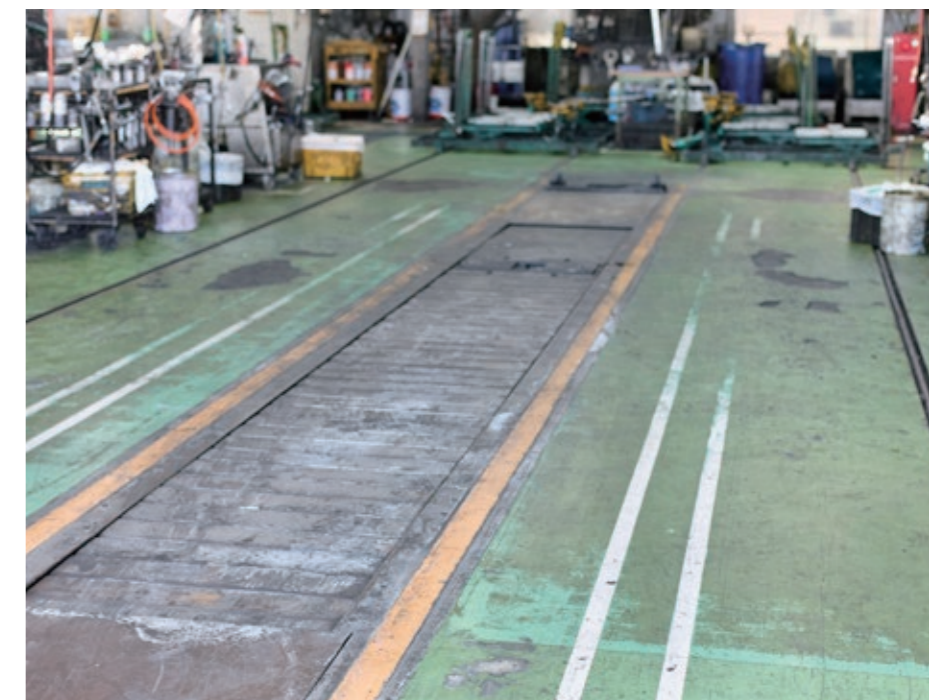


ここに、整備工場があったことの名残





これまで、どれだけの大型車がここに停車したのだろう…



次第に消えていく白線に、整備の長い長い時間を感じる



タイヤの大きさとどれだけ大きなトラックか分かる
しかし、社員が決して小さく見えない…

持ち場



少し覗き込んでいるだけなのに、
何だろ、この愛情深い雰囲気は…



タイヤの大きさに改めて驚くが、
それをきめ細やかに観ている人にもっと驚かされる



一つ一つの道具や帽子が
語りかけてきそうな空気感



注意を促す張り紙が
生真面目さとプロ意識の高さの象徴

「 プロ意識 」

実績



この検査機はどれほどのクルマをみて、
世に送りだしたのだろう…



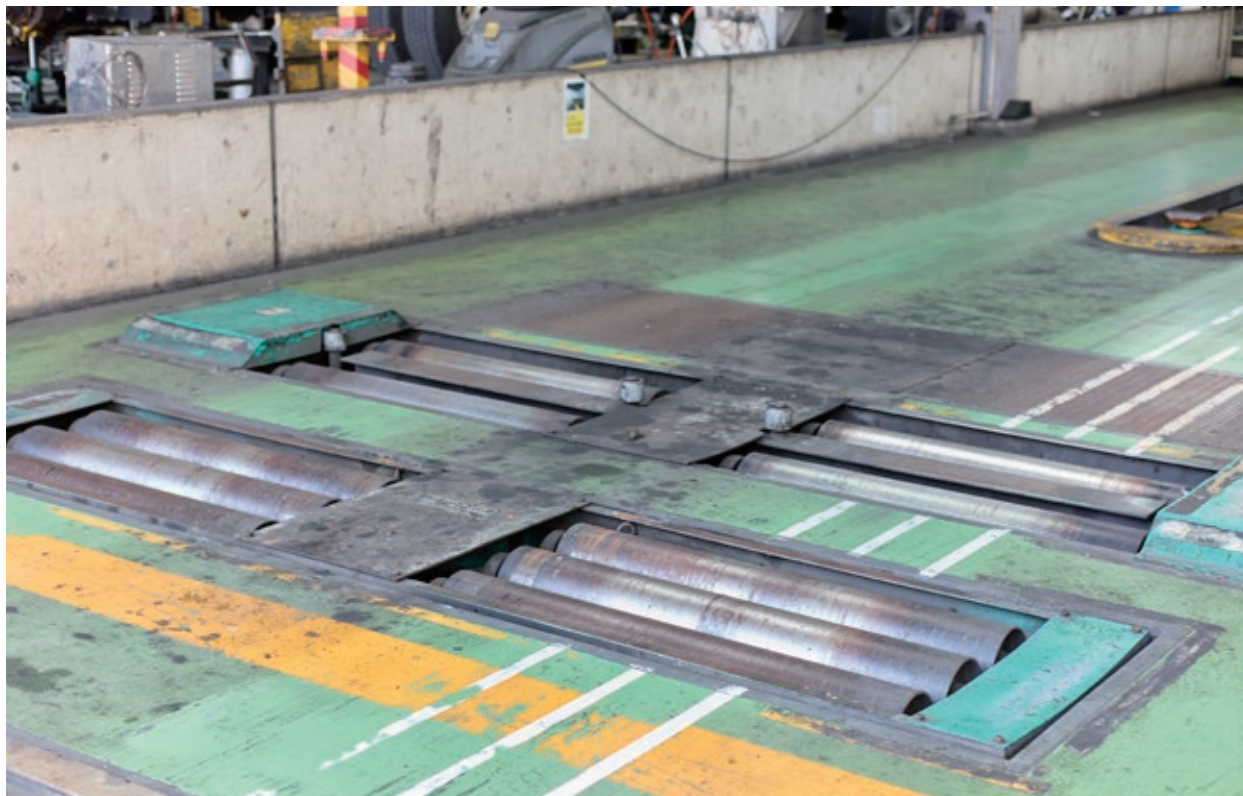
その時々でクルマの状態を広く知らせめたモニター。
静かではあるが、どこか安心する



クルマを下からみるという検査場ならではの空間。
どれだけの不具合を見つけてきたのだろう



長年、クルマの安全運転を支えてきたローラーには
貢献の高さを感じざるをえない



ブレーキがしっかり効いているかを検査する装置。
この「検問」をクリアしなければ、世には出れない

歴史

工場ができた頃から安全への「最後の砦」として機能してきた初代「完成検査場」

完成検査場



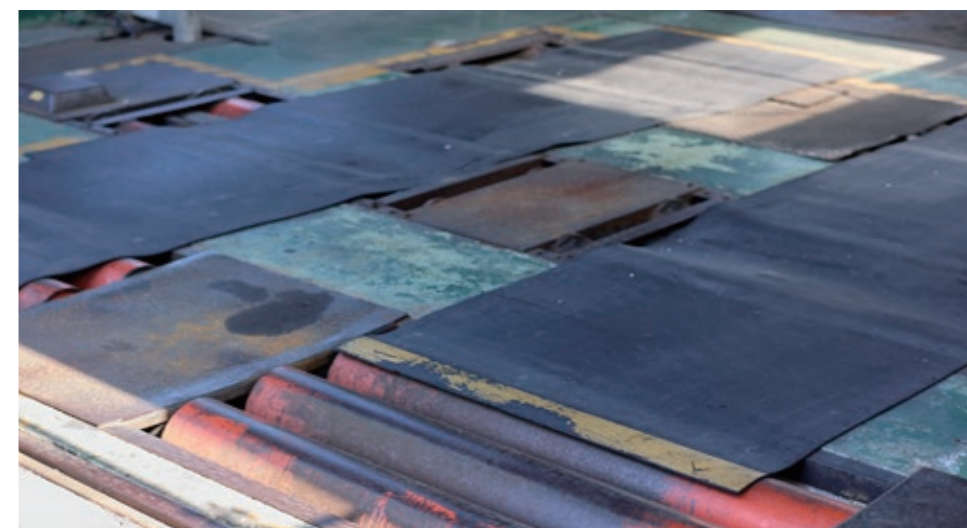
初代「完成検査場」全景
安全へのこだわりをひしひしと感じる「風貌」



ブレーキの効き目を測定するローラーが顕在。
いつでも検査の「肝」は変わらない



昔も今も、このような場所に潜って
点検した検査員に
ドライバーはもっともっと
感謝した方がいいだろう…



ローラーの多くのキズや
色の変り様を見るだけで、
いかに稼働し、多くの人のために
働いたかが分かる



検査用計器の名前が手書きであることが
安心感と年月の長さを感じさせる

手作り



「スピードメーターテスター」、
速度に関する検査に
関係しているはずなのに、
どこかゆったりとした感じ…



使い古された道具や機器を見るだけで、
時の移ろいと
使っていた検査員の気配を感じる



今でも動き出しそうな扇風機。
当時は大活躍の検査員たちの
良き「相棒」

「息づかい」

古い引き出しに、手書きの文字。
リアルなまでに、
使われていた頃に引き戻される…



「
誇り
」

どんなに古くなっても残る「完成」の文字。
役割は終わったかもしれないが、
誇りの高さを感じる





工場内に残る通路。向こうに見えるのは、作業場なのに、なぜか別世界に見えてしまう

別世界



手前の自動販売機だけがリアル。不思議な雰囲気醸し出す



一直線の不思議な通路と思って進んでいくと、不意に現れる階段。上への興味がそそられる



消えかかった「手すりを持って」の注意板。
作業中に上がっていくのが頭に浮かぶ

親しみ



だんだん向こうの
作業場が見えてくる。
現実に戻ってきたような
気にさせる…

意識

敷地内に入ると、案内板が目に入る。
「安全」の文字に、意識の高さを感じる





招来

「部品カウンター」。ガラス張りであることが
広く門戸を広げている感じが伝わる



中枢



「社長室」。大きな会議用のテーブルと椅子。
これまでどんなことがココで
決まってきたのだろう…



「社長デスク」。背後に置かれた「HINOの基本理念」
社長はもちろん、この部屋に来た社員の目には
必ず飛び込んでくる…



温かみ

別の会議室には、
大きな絵画が掛けられている。
どのくらいの人たちを
温かく見守ってきたことだろう…





出会い

社長室横の会議室。
数えられないくらいの来賓を
迎え入れている風格が
にじみ出ている



責任

“約束”を立てたその日から、
すべての仕事は始まった。
誰も見ていない場所でも、
言葉はずっと、飾られ続けた。
きっと、それが責任というものだろう。

われわれ自動車販売事業者は、企業責任を認識し、
ここに業務遂行上の指針とする倫理綱領を定める。

自販連倫理綱領

- 一、健全な生活環境確保のため、社会の発展・福祉の増進に寄与すること
- 一、社会的な地位を向上するため、諸法遵守し、経営基盤の恒久的安定に努めること
- 一、販売秩序を維持し、相互信頼のもと公正な競争を行うこと
- 一、顧客に適切な商品、サービス及び情報を提供すること
- 一、従業員の人間性を尊重し、職場環境を整え、ゆとりと豊かさの実現に努めること

社団法人 日本自動車販売協会連合会

こだわり

この会議室には多くの自社製トラック等の模型が置かれている。
歴史と思い出がよみがえってくる



本社内にある大きな会議室。
白のテーブルにブルーの椅子の背もたれが映える。
どれだけのことが話され、決められたのだろう…



威風



会議室の演台には、
日野自動車の
「H」のエンブレムが…
何という存在感。

屋上には、以前はここで
朝礼が行われ
その名残である演台が残っている



いにしえ

追憶

工場の外観と日野エンブレム。
当たり前の風景が想い出になる



礎(いしずえ)



57年前、本社が大阪市西淀川区千舟に移転。
その歴史を静かに伝えるプレート

